

# 北海道地区自然災害科学資料センター活動報告メモ

## (平成 27 年度)

### (1) 一般活動 (地区幹事会・センター運営委員会)

第 1 回幹事会：平成 27 年 8 月 28 日 (木) 15:00~17:00 参加人数：14 名

#### ◇議題

#### 1. 自然災害研究協議会報告

岡田部会長より、4 月 27 日 (月) に開催された、平成 27 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会の報告があった。

- ・平成 26 年度の決算報告。
- ・平成 27 年度の北海道地区の予算は 63 万円。幹事の出張旅費、フォーラム開催費に加え、センター報告印刷費、WEB ページ作成外注費として執行予定。
- ・人材データベースの北海道地区の登録人数について (現在 83 名)
- ・藤吉幹事より、突発災害科研の申請及び採択実績について知りたいとの要望があった。

#### 2. 平成 26 年度決算報告

山下センター長より、添付資料に基づいて報告があった。

#### 3. 平成 27 年度予算案

山下センター長より、添付資料に基づいて報告があった。

例年並みの支出の予定。

PQR 棟耐震補強工事に伴う資料センター室移転作業 (資料整理・梱包・荷解き作業) に学生アルバイトを雇用。

年度末に発行予定の『センター報告 29 号』は、平成 27 年度分については、自然災害研究協議会の予算で印刷・製本をする。

自然災害研究協議会の予算執行期限に伴い、原稿の締切りは平成 27 年 12 月末とする。

#### 4. 幹事の交代について

緑川委員が平成 28 年 3 月末でご退職されることに伴い、後任に岡崎准教授を指名し、承認された。

岡崎准教授には、第 2 回幹事会より幹事としてご出席していただくこととなった。

#### 5. 地区フォーラムのテーマについて

具体的な候補はあがらなかったが、次回幹事会まで検討を継続することとなった。

#### 6. センター (地区部会) 業務報告

- ・4 月より順次センター報告 28 号が発送された。

- ・北海道地区部会員のメンバー数動向報告。  
新規会員も引き続き募集中。
- ・資料の貸し出し 1 件、寄贈 15 冊、作成予定 1 冊。
- ・自然災害か学区資料センター室の移転作業完了。  
工学部 PQR 棟改修工事完了のため、H21、H22 室より移転。  
移転日：平成 27 年 5 月 20 日  
移転先：事務室 Q351 資料室 Q301  
※電話番号、内線番号は変更無し
- ・センター報告の Web 上での公開について。  
筆頭著者へ WEB 上での論文公開についてお知らせし、公開見合わせがあった一件を除き公開した。  
藤吉幹事より、センター報告の論文については、北大学術成果コレクション（HUSCAP）への登録も検討してはどうかとの提案があり、検討することとなった。

7. 自然災害資料センター報告 29 号の募集について

例年より早い 12 月末が締切り。  
緑川先生の研究室より掲載可能な論文がある旨情報をいただいた。  
次回幹事会まで、引き続き候補を検討する。

8. 総会特別講演会講演者候補について

室蘭工業大学 土屋 勉 教授（建築基礎工学）  
北海道大学 奈良林 直 教授（原子力）  
北大工学部以外の学部、他大学で該当者がいれば連絡していただきたい。

9. その他

特になし。

**第 2 回幹事会：平成 27 年 12 月 25 日（木）15：00～17：00 参加人数：12 名**

◇議題

1. 自然災害研究協議会報告

岡田部会長より、10 月 6 日（火）に開催された、平成 27 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会の報告があった。

- ・突発災害の申請件数と採択率について質問し、本年度については 3 件申請があり 100%の採択率とのこと。本部申請の前段での申請の可否判断についての情報はないが、本部から上がってきた申請については 100%採択している。
- ・本部管理の人材データベースに現時点では外部からはアクセスできないが、今年度の本部予算で外部アクセスができるようシステムを改善するようになっている。
- ・科研費（突発災害）申請ガイドラインについて、以下の修正を加え承認された。

- (1) 申請の可否判断に被災地区部会長の意見を聴取すること
- (2) 自然災害が発生した場合という限定表現を、「等」を加え、後続する複合災害の発生の予兆も対象とできる

・京都大学防災研究所の共同利用・共同研究拠点の課題の募集案内  
申請期限：2016年1月15日(金)

## 2. 平成27年度予算中間報告

- ・野田事務員より、添付資料に基づいて報告があった。
- ・来年度への繰越予定額は1,191,554円。
- ・岡田先生からの補足説明
  - (1) 本年度は印刷費30万円程を本部予算で執行する。
  - (2) 北大事務から次年度への予算の繰越を認めると報告があった。
  - (3) 本部北海道地区の今年度予算は63万円。残り58万円程。  
今後の執行予定は下記のとおり。
    - ・センター報告の印刷、製本
    - ・フォーラム開催費
    - ・出張旅費
    - ・HP更新

## 3. センター報告29号の募集について

原稿を募集。1月15日締め切り。

ご寄稿予定

- ・緑川先生 ・渡部先生（山下センター長ご依頼予定） ・山下センター長
- ・岡田部会長（予定）・中村裕一先生

## 4. 地区フォーラムのテーマについて

山下センター長より、2014年の豪雨高潮等について札幌で1月末～2月中に地区フォーラムを開催予定とのこと。

（土木学会北海道支部講演会と併せて開催の可能性も有り。）

## 5. 総会特別講演会講演者候補について

講演者は、高松先生（公共政策大学院）に決定。

丸谷先生（農学研究院）が候補にあがった。

→後日、丸谷先生からご快諾いただき、ご講演いただくことが決定した。

総会の日程は、高松先生と丸谷先生のご予定を優先し決定する。

## 6. その他

特になし。

## (2) 地区フォーラム

「これからの研究者・技術者のための 最近の北海道の自然災害」

開催日時：2016年2月23日（火）

開催場所：北海道大学工学部 B3棟1F B31

講演

- ・「自然災害をもたらす近年の北海道の気象現象」  
松岡 直基 様（一般財団法人日本気象協会）
- ・「冬期の吹雪災害と防雪対策」  
西田 浩平 様（株式会社雪研スノーイーターズ）
- ・「これまでに北海道に接近した台風の経路の傾向分析」  
山本 太郎 様（一般財団法人北海道河川財団）
- ・「十勝川千代田実験水路を用いた破堤被害軽減に向けた取り組み」  
島田 友典 様（寒地土木研究所寒地河川チーム）
- ・「一般国道453号における支笏豪雨災害について」  
坂 憲浩 様（国土交通省北海道開発局）

## (3) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 vol.29号の刊行（2016年3月）

## (4) 地区総会

開催日時：平成28年3月8日（火）15:00～15:30

開催場所：北海道大学大学院工学研究院 A101会議室

◇特別講演会◇

- ・高松 泰 先生（北海道大学公共政策大学院）  
「積雪寒冷地域における複合的リスクへのアプローチ」  
予定時間15:30～16:30
- ・丸谷 知己 先生（北海道大学大学院農学研究院）  
「地表変動－生物圏と地水圏の接点で起きる土砂災害－」  
予定時間16:30～17:30